

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●エリザベス女王杯はクイーンズリングが優勝

11月13日(日)のエリザベス女王杯(G I)ではクイーンズリング(牝4歳/栗東・吉村圭司厩舎)が優勝、G I初制覇を果たしました。同年の府中牝馬S勝ち馬によるエリザベス女王杯勝利は、1998年のメジロドーベル以来18年ぶり2頭目のこととなります。

### ●福永祐一騎手がJRA年間100勝を達成

11月12日(土)の5回京都3日・第11レースとしておこなわれたデイリー杯2歳S(G II)ではジュヌエコールが1着となり、同馬に騎乗した福永祐一騎手(栗東・フリー)は、7年連続8回目となるJRA年間100勝を達成しました。本年の年間100勝達成は、戸崎圭太騎手、クリストフルメール騎手、ミルコ・デムエロ騎手、川田将雅騎手に続く5人目となります。

### ●川須栄彦騎手がJRA通算300勝を達成

11月13日(日)の3回福島4日・第9レースではニシノイナズマが1着となり、同馬に騎乗した川須栄彦騎手(栗東・フリー)は、現役48人目となるJRA通算300勝(4239戦目)を達成しました。

### ●ストレイトガール、シンハライトらの競走馬登録抹消

2015年・2016年ヴィクトリアマイル(G I)や2015年スプリンターズS(G I)などの勝ち馬ストレイトガール(牝7歳/栗東・藤原英昭厩舎)は、11月13日(日)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績29戦11勝・海外2戦0勝で、今後はイギリスのナショナルスタッドで繁殖馬となる予定です。2016年北海道新聞杯クイーンS(G III)などの勝ち馬マコトブリジャール(牝6歳/栗東・鯨島一步厩舎)は、11月16日(水)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績28戦7勝で、今後は北海道浦河町の辻牧場で繁殖馬となる予定です。2016年優勝牝馬(オークス/G I)などの勝ち馬シンハライト(牝3歳/栗東・石坂正厩舎)は、11月17日(木)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績6戦5勝で、今後は北海道安平町のノーザンファームで繁殖馬となる予定です。

### ●藤田菜七子騎手が国際女性騎手招待競走で7着

11月13日(日)、アラブ首長国連邦のアブダビ競馬場でおこなわれた国際女性騎手招待競走「ファティマ・ビン・ムバラク妃殿下主催ワールドレディーズチャンピオンシップ」第15戦ファイナルにおいて、藤田菜七子騎手(美浦・根本康広厩舎)は15頭立ての7着でした。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●インタラクシオンC(大井)で韓国馬2頭は大敗

韓国からの招待馬2頭が出走した日韓交流競走インタラクシオンC(特別、11月15日、大井、1200m)は、ゴードイー(大井)が優勝。韓国勢は、ピチュワンジャが12着、ウバギは14着でした。

### ●南部駒賞は地元岩手のベンテンコゾウ【各地の主要2歳重賞】

南部駒賞(11月13日、水沢、1600m)は、逃げた1番人気のベンテンコゾウ(牡、父サウスヴィグラス)が北海道からの遠征馬ヘイジュードを6馬身引き離して圧勝。兼六園ジュニアC(11月1日、金沢、1500m)は、後方から追い上げたヴィーナサアロー(牝、父パイロ)がゴール前の接戦をクビ差で制し、単勝1.1倍の支持に応えました。

### ●11月22日の浦和記念(浦和)はケイティブレイブが有力

浦和記念(Jpn II、11月22日、浦和、2000m)は、3歳馬ケイティブレイブが中心、以下クリソライト、ストロングサウザー、メイショウヒコボシまでが争覇圏内と考えられます。

### ●ハングリーベンらが出走、11月23日の兵庫ジュニアグランプリ

兵庫ジュニアグランプリ(Jpn II、2歳、園田、1400m)は、ハングリーベン、ネコワールドのダート2勝馬2頭に加え、ゲキリン、ストーンリバー(北海道)が有力視されますが、リンクスゼロ、アズールムーンも初ダートを克服すれば好戦可能です。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●カルティエ賞が発表～欧州年度代表馬にマインディング

欧州競馬の年度表彰制度であるカルティエ賞が11月8日に発表され、英1000ギニー、英オークス、クイーンエリザベス2世Sなど今年だけで5つのG Iを制した愛国馬マインディング(牝3歳、父ガリレオ、A. オブライエン厩舎)が年度代表馬に選出されました。同馬は最優秀3歳牝馬も併せて受賞しています。3歳牡馬は仏ダービー、愛チャンピオンS、英チャンピオンSとG I・3勝の仏国馬アルマンゾル。古馬はG I凱旋門賞に優勝した愛国のファウンド(牝4歳)。スプリンターはG IコモンウェルスCとG IスプリントCを制した英国のクワイエットリフレクション(牝3歳)。ステイヤーはG IワールドCを制した愛国のオーダーオブセントジョージ(牡4歳)。2歳牡馬はG IデューハーストSとG I愛ナショナルSに勝った愛国のチャーチル。2歳牝馬はG Iモルニ賞を勝った米国のレディオアリア。カルティエ賞は、欧州重賞の成績によるポイント(30%)、競馬記者投票(35%)、レーシングポスト紙とデイリーテレグラフ紙の読者および英チャンネル4レーシングの視聴者投票(35%)の合計で決定されます。